

地域情報誌
2015年10月
(No23)



DEすかね

〈編集・発行〉生きがいのある須金をつくる会

梨ぶどう祭り、今年も盛大に開催！



(40周年を迎えた須金ぶどう梨生産組合)



(SUGANEが来場者に振舞われました)



(初登場の農園ゴスペル)



(大抽選会は今年も盛り上がりました)

今年の梨ぶどう祭りはよかったねえ。雨で小学校の体育館に移動したもんじゃから、まるでライブハウスみたいじゃった。須磨小学校の雲海太鼓は、よく音が響いたもんね〜。それに子どもたちのダンスはかっこよかったねえ、よく練習しちよるね！それから、みっこさんは、ほんとええ声しちよるね、しびれたわー。

そういえば、今年で須金ぶどう梨生産組合は、40周年になるんてねえ。これからもおいしい果物を期待しちよるよ！！

(文/須金の人声)



人物紹介

上野恭子さん（下市）



**上野さんは須金の中原出身で、50年ぶりに故郷の須金に戻って来られました。
色々な町で暮らしてきた上野さんだからこそ感じる須金の魅力を、沢山お聞きしてきました。**



（自家栽培のお野菜と）



（宝物の脚踏みシン）

Q1. 小さい頃はどんな子供でしたか？

15歳まで須金で暮らしましたが、野山を駆け巡り、木の実（黒豆の木、今のブルーベリー）を取ったり、ワラビ、ゼンマイ、イタドリ等の山菜を取ったり、川で泳いだり、魚を釣ったりして遊んでいました。本を読むことも、何より好きでした。子供の頃好きだった事は、今でも好きですね。大人になってからは裁縫や料理、お菓子づくりも大好きです。子供の時は生で食べていたイタドリも、今はおいしく料理できますよ。

Q2. こちらに戻られて3か月たちますが、こちらの暮らしはいかがですか？

昔ながらの盆踊りは懐かしく、1時間以上も夢中で踊りました。“雀百まで踊り忘れず”身体が覚えていました（笑）。それから、なし・ぶどう祭は凄かったです。子供たちの太鼓、農園ゴスペル、ダンス、ヤマメの塩焼き、石釜焼のピザ・・・、豪華な景品の抽選会（何も当たらなかった、残念）。転勤で各地のお祭りに参加してきた私もビックリ。盛り沢山で、千人集まるのも納得です。

Q3. 他の町と比べて須金はどうですか？

お祭りでも感じましたが、地域の人たちが活発に活動していて凄いです。「田舎だから何にもないよ」との言葉も聞きましたが、「田舎だからこそ何でもある」と思えます。私にとっては、夢の世界に舞い戻れたと思っています。須金が私だけでなく、子供や孫達の「ふるさと」になればいいなと思っています。

Q4. これからやってみたいことは何ですか？

学校行事で嫌々したお茶摘みも、祖母の手伝いでした楮の皮むき、こんにゃく作り等も懐かしく、今では進んでしてみたい事です。先輩方に教わりながら、野菜作りなども、出来るだけ手作りで、出来るだけの自給自足生活を目指します。

お話を伺っていると、とにかく多彩な上野さん。須金にはいろんな特技を持った方がいらっしゃいますが、また新しい風を吹き込んでくださる予感。これからの活躍が楽しみです。

（インタビュー/三牧清隆）

「SUGANE HARVEST WEEK」 初開催！



(日替わりで、おいしいお店が大集合！)

9月19日(金)～23日(水)のシルバーウィーク期間中に、今年初の試みとして、ふれあいプラザ須金にてミニマルシェ「SUGANE HARVEST WEEK(須金大収穫週間)」が開催されました。

今年から新所長に就任した広谷さんの発案で、企画されたこのイベント。県内の人気店や雲海塾など3～4店舗が、日替わりで大集合。梨ぶどう狩りに訪れたお客様にも、大勢立ち寄っていただき、予想以上の大盛況！みなさん、おいしい食事やスイーツ片手に、果物狩りへ。お天気にも恵まれ、秋の須金を満喫されていた様子でした。来年も開催決定へ、ですね(笑)。

(文 / 須田 浩史)



もみじパーク草刈りにご参加ください！！

主 催 生きがいのある須金をつくる会
日 時 平成27年11月1日(日) 8:00～
集 合 須金支所前
持参器具 草刈り機(混合油はこちらで準備します)



須金地区主な行事予定

(10～11月)

10月

- 10月4日（日）それーねの日
- 10月5日（月）コミュニティ理事会
- 10月11日（日）須金地区小学校・市民
合同大運動会
- 10月17日（土）ねんりんピック和紙絵展示
（～19日 きららドーム）
- 10月18日（日）亀山八幡宮秋季大祭
- 10月25日（日）山口自然の学校

11月

- 11月1日（日）もみじパーク草刈り
それーねの日
- 11月9日（月）コミュニティ理事会
- 11月15日（日）ふれあい文化祭

DEすがね掲示板

雲海塾では引き続き、地域課題解決のひとつとして、「雲海塾なんでも屋」の活動を行っています。庭や田畑の草刈り、買い物代行、犬の散歩などなど、みなさんの「困った」を雲海塾メンバーが代行します。参考までに、草刈りの場合、燃料代込で1人1時間900円で行っています。詳しくは、須金公民館(0834-86-2201)までお問い合わせください。



(先月、初の依頼をいただきました！)

※DE すがね無料メール配信

メールでもこの情報誌は読めます！申し込み方法はdesugane@gmail.comへ配信希望と書いたメールをするだけ。励ましや感想もこのメールアドレスで受け付けています。

須金で育って、いま全国でがんばっている皆さんの元へ届けましょう！



特別連載 須金歴史探訪

(第23回)

氷見神社（ひみじんじゃ）

文 高橋 勝己

貞観13年（871年）に藤原良房の二男良度は、勅命により周防の山深いこの地（奥畑）に分け入り、土地を開拓し人家を広め、耕作ひとつで、この土地を豊穰ならしめようとして、山中に黒木の館を造りました。そして北に百町（約10キロ）余りの、獣も通わぬような山中に入った所、赤々と輝く灯を発見したので、これを怪しみ山上によじ登ると、岩の上に金色の仏像が祀られていました。良度は、夜通しこれを信心したところ、仏像が「われを守らせよ」と云い、ここに権現と現れました。そこで良度は仏像を洞窟に安置し、のちに麓に社を建て、これを入れ、黒尊仏と唱え、うやまい祀りました。これが秘密尾（ひみつお）権現です。



(写真：氷見神社)

編集後記

今年の観光シーズンも、県内外から、たくさんの方が須金を訪れてくれました。一年で、いちばんの賑わいを見せるこの季節。小さな里山の魅力を、これからも地域のみんなで伝えていきたいですね。（須田）